

三重病院新病棟紹介③

1ページ

新任医師紹介／こんなことしてます三重病院／医療福祉相談室だより／救急外来についてのお願

2ページ

糖尿病ワンポイントアドバイス「災害非常食について」／敷地内全面禁煙について

3ページ

通所系サービス実施場所変更のお知らせ／ミラーの位置を変更しました／外来からのお知らせ／外来診察のご案内

4ページ



## 三重病院新病棟紹介③

### 1病棟紹介



①長～い廊下 その1

新病棟の1階は、整形外科、リハビリテーション科の病棟です。成人の患者さんは、大腿部頸部（足のつけね）骨折や脊髄損傷などの治療のために入院しています。また小児の患者さんは、先天性股関節脱臼や内反足の治療のために入院しています。そのため患者さんは、0歳から90歳までと幅の広い年齢層の方が入院しています。

入院しているほとんどの患者さんは、リハビリをがんばっています。リハビリ室は、新病棟になってから病棟の横に設置されたため、とても便利になりました。しかし病棟が大きくなったためトイレに行ったり、食堂に行ったりする日常生活が大変になったようです。しかしそれもリハビリの一環と考え、患者さんはがんばっています。

写真のように1階の病棟は廊下がとても長いです。患者さんが部屋から出て、病棟を一周すると120mあります。この廊下を歩行器や杖を使って多くの人が歩行訓練をがんばっています。看護師は転倒予防のために患者さんの横に立って見守りをしています。

食堂は、40人の患者さんが集まることのできる広さです。患者さんの多くは、リハビリを兼ねて、この食堂で朝・昼・夕の食事をしています。スタッフステーションの窓からは患者さん達や看護師と楽しく会話をしながら食事をしている風景を見ることができます。微笑ましい気持ちになります。

新病棟は、外来棟の奥、つまり西側にあり、1階が整形外科とリハビリ室、2階が小児科・小児神経内科・小児外科、3階が内科・内科となります。今月は1階の1病棟をご紹介します。

- ① 入院患者のアクセシビリティの向上
- ② 地域医療との連携の強化
- ③ リハビリテーションの充実
- ④ 厨房機器などのオール電化
- ⑤ 在宅の重症心身障害児の医療福祉の充実

三重病院の新病棟のコンセプトは



②長～い廊下 その2

病棟には、小学生、中学生、高校生の患者さんもいます。長期の入院が必要になる場合が多く、隣接する緑が丘特別支援学校に通学しています。入院治療と勉強の両立ができるように子どもたちは努力しています。テスト期間中になると食堂を活用して勉強しています。可能なかぎり、自宅で勉強していた習慣が続けられるような学習環境を提供しています。

そろそろ花見の時期です。旧病棟では、病棟の横に桜の木がありました(写真③)が、新病棟にはありません。すこし寂しくなりましたが、桜の木を探して、患者さんと花見をしようか検討中です。

(1病棟看護師長 本多 雅之)



③旧病棟の桜と桜んぼのような(!)スタッフです